

平成 29 年度

第 36 回 静岡県中学校  
6 人制バレーボール選手権大会

- ・ 期 日 平成 29 年 6 月 4 日 (日)  
6 月 10 日 (土)
  
- ・ 会 場 6 月 4 日  
長泉町立長泉中学校 (男子会場)  
富士市立富士中学校 (男子会場)  
伊豆の国市立長岡中学校 (女子会場)  
伊豆の国市立長岡体育館 (女子会場)
  
- 6 月 10 日  
伊豆の国市立長岡中学校 (メイン会場)
  
- ・ 主 催 (一社)静岡県バレーボール協会
- ・ 共 催 (株)テレビ静岡
- ・ 主 管 (一社)静岡県バレーボール協会中学校部
- ・ 後 援 静岡県教育委員会  
(公財)静岡県体育協会
  
- ・ 協 賛 産経新聞社

協 会 役 員

会 長	土屋信二							
副 会 長	鈴木照久	青木隆昌	吉澤俊道	小山隆夫				
名 譽 顧 問	戸本隆雄	田 代 攻	西 郷 功					
顧 問	塩 谷 立 黒 川 健	小 林 豊 山 口 秀 之	松 井 純 田 神 耕 一	林 寛 子 中 西 満 子	桜 田 和 之 河 村 俊 彦	竹 内 圭 介 稲 村 欣 作	福 田 安 広 戸 塚 美 代 子	
参 与	渡 辺 正 規 藤 池 年 男 伊 藤 真 一 斉 藤 進 夏 目 維 文 池 田 介 佑	海 瀬 常 明 青 山 充 男 朝 比 奈 整 清 水 修 藤 井 英 二 吉 岡 伊 作	植 松 登 田 口 彰 一 吉 本 秀 樹 土 屋 義 人 稲 盛 透 岡 村 信 廣	小 田 部 信 行 西 島 至 池 田 靖 大 石 誠 垣 見 佳 子 藤 村 博 美	石 渡 光 一 櫻 井 鋭 一 曾 根 章 光 鈴 木 勤 赤 堀 隆 治	深 山 正 和 竹 村 保 山 口 一 三 堀 部 裕 子 山 元 靖 夫	大 川 由 美 子 稲 葉 久 仁 次 石 原 正 男 森 啓 彰 外 山 圭 介	
監 事	高 嶋 真 樹	西ヶ谷信義	佐久間基					
理 事 長	都築安夫							
副 理 事 長	植 田 質	大 畑 邦 彦	橋 本 泰 幸	村 松 喜 一 郎	赤 平 大 二 郎			
常 任 理 事	戸 本 浩 史 田 川 明 浩 待 谷 健 一 郎	増 田 和 久 丸 山 洋 幸 大 橋 誠 二	曾 根 康 小 山 和 紀 小 沢 良 行	岩ヶ谷博利 高 林 於 左 武 川 内 禎 仁	渡 邊 義 昭 登 朝 子 萩 原 博 行	増 田 直 彦 河 合 学 海 野 茂 雄	後 藤 訓 良	

運 営 委 員

競 技 委 員 長	大 畑 邦 彦					
同 副 委 員 長	太 田 雄 司					
同 委 員	仲 神 克 彦					
審 判 委 員 長	渡 邊 義 昭					
同 副 委 員 長	後 藤 康 文					
同 委 員	鈴 木 健 太	佐 藤 駿 一	松 本 匡 史	林 本 友 和	渡 辺 俊 洋	
	野 田 整 司	平 山 俊 一	山 口 記 美 雄	松 本 晃	石 川 雄 慎	
	小 林 吉 男	山 本 慶 人	佐 野 恭 一	高 澤 駿 一	田 邊 達 矢	
線 審 主 任	松 本 晃					
線 審	伊 豆 の 国 市 市 内 中 学 校					
得 点 掲 示 主 任	東 誠 二					
得 点 掲 示 係	伊 豆 の 国 市 市 内 中 学 校					
総 務 委 員 長	戸 本 浩 史					
同 副 委 員 長	宮 城 新 太					
同 委 員	市 川 重 樹	都 築 哲				

※すべての会場は、バスが入っていきませんので、バス会社と協議のうえ回送をお願いします※

◇競技役員一覧表 [6月4日(日)]

	男子会場		女子会場	
	富士中	長泉中	長岡体育館	長岡中
競技	望月壮	小林洋介	宮城新太	小澤真澄
審判	遠藤恵	高澤駿一	鈴木麻央	坂下良祐
審判員	宝金裕幸 渡邊 勇太 & 県派遣審判員	吉留一将 東 誠二 鈴木公英 鈴木麻希	小林吉男 九島宏樹 & 県派遣審判員	高田明子 & 県派遣審判員
総務	田邊達矢	稲村一紀	渡邊尊仁	青木良太
会場	三輪 新	塩谷隆史	松本晃	高安寿敬

[6月10日(土)] 会場：伊豆の国市立長岡中学校

競技	仲神 克彦	
会場	高安 寿敬	
審判	高澤 駿一	坂下 良祐
審判員	渡邊弦也・鈴木麻希・佐野恭一・山本慶人 河合玄哉・林本友和 大鹿純	後藤康文・高田明子・渡邊尊仁・小林吉男 松本匡史・松永愛矢 佐藤駿一
総務	宮城 新太	
生徒役員	伊豆の国市内中学校	伊豆の国市内中学校

◇使用球 検定済4号球（人工皮革のカラーボール）を使用する。

1日目、2日目ともに大会本部で準備した検定球を使用する。

（男子：モルテン、女子：ミカサ）

◇その他

- (1) チーム編成 監督：1名 当該学校の校長・教員  
コーチ：1名 当該学校の校長・教職員または外部指導者  
（外部指導者については、県中体連の規定に従う）  
マネージャー：1名 当該学校の校長・教職員または当該学校の生徒  
選手数：12名以内（試合ごとにエントリーする）
- (2) 監督、コーチ、マネージャー、主将はそれぞれ規定のマークを着用すること。
- (3) 審判割振に関しましては、審判割振表を参照してください。  
（弁当の支給はありません。各チームでご用意ください）
- (4) 第1日にベスト4を残し、2日目に準決勝、決勝を行う。
- (5) 出場チーム及び選手は（公財）日本バレーボール協会と（一社）静岡県バレーボール協会に有効に登録されたチーム及び選手に限る。

※ 注意 県中学校体育連盟の規定に準じて実施するので参加マナーの面で特に注意し、生徒への指導徹底を図る。

◇練習割振

6月4日(日)	長岡体育館
9:00	開館
9:10~9:25	東部地区
9:25~9:40	中部地区
9:40~9:55	西部地区
9:55	代表者会議
10:00	開会式
10:30	試合開始(予定)

[6月4日(日)] …長岡中

8:20	開館
8:30~8:45	東部地区
8:45~9:00	中部地区
9:00~9:15	西部地区
9:15	代表者会議
9:20	開会式
9:50	試合開始(予定)

[6月10日(土)]

8:30	開館
8:45~9:00	A1, B1
9:00~9:15	A2, B2
9:15	代表者会議
9:20	開始式
9:50	試合開始 準決勝
15:00頃	閉会式(予定)

※開会式に関しては、第一試合と第二試合に出場するチームは必ず参加する。第三試合以降のチームは、開会式に参加しなくてもよい。

#### ◇競技方法

- ・ 男女6チームずつの4ブロックに分かれてトーナメント戦を行い、各ブロックを勝ち抜いた男女4チームが大会二日目に進出する。
- ・ 2日目は準決勝、決勝を行う。

#### ◇競技規定

- (1) 平成29年度(公財)日本バレーボール協会制定6人制競技規則による。  
ただし、ネットの高さは、男子 230cm、女子 215cm とする。
- (2) 審判上の注意
  - ・ 審判割振  
【主副審について】第一試合と第五試合は、東部地区役員で行う。その他の試合は、前試合の相互チームが主・副審判を行う。  
【生徒役員について】第一試合の生徒役員は、第二試合の両チームが行う。それ以降は、前試合の負けチームが行う。
  - ・ 審判、生徒役員の割り当てについては、大会参加チームに配布される大会プログラム中に記載されている試合進行表に明記されているので、各チームで確認しておくこと。
  - ・ 笛は、Aコートを長笛、Bコートを短笛とする。
  - ・ 試合中のワイピングについては、チームの責任で試合を遅らせないように行うこと。なお、ワイピング用の布は各チームで用意すること。タイムアウトやセット間は、各チームでモップを使用して行うこと。
  - ・ タイムアウトの要求は監督が立ち上がり、口頭およびハンドシグナルを用いて行うこと。  
リベロは、試合開始すぐに交代する場合は、コート横に控えている。副審に、番号を見せる必要はない。
  - ・ (試合開始すぐにリベロが交代する場合は、コート上での円陣は7人まで可能。交代しない場合は、コート上は6人で円陣を行う。リベロはコート横に控えていないようにする。)
- (3) 競技上の注意
  - ・ 試合は、3セットマッチ、トーナメント方式とする。
  - ・ 練習時間は合終了後の吹笛後すぐに合同練習(10分)をとり、プロトコールに入る。第一試合は、主副で記録をしめる。
  - ・ 試合が連続する場合…
    - ・ 1日目は合同練習を15分とする。
    - ・ 2日目は合同練習は、男女で遅く終わった準決勝終了30分後に始める。それまでは、コートに入らない。
  - ・ フロアー以外ではボールを使った練習をしないこと。
  - ・ ゼッケン番号は1~20が望ましい。番号はユニフォーム中央につけ、主将は規定マークを番号の下につける。
  - ・ 各チームのスタッフ(外部指導者を含む)は、統一した服装でベンチに入ること。
  - ・ 監督、コーチ、マネージャーは規定のマークを左胸につけること。また、マネージャーが生徒の場合は競技者と異なる服装であること。
  - ・ ラインアップシートは、1セットごと1枚提出し、使い回しをしない。(監督は、事前に切り離しをする。副審は、返却をしない。)
- (4) 服装・マナーについて
  - ・ 試合場では、スタッフ・生徒ともシャツの裾をズボンやパンツの中に入れ、乱れた服装をしない。
  - ・ 髪の毛を縛るゴムの色は派手にならないよう指導しておくこと。
  - ・ 選手の試合用のソックスは、安全上の理由でくるぶしが隠れるものとする。
  - ・ 応援席は指定された場所を使用する。  
応援が加熱しすぎないように注意すること。試合進行の妨げになるような鳴り物(笛・太鼓等)を使った応援はしない。
  - ・ 水分の補給は、フロアーに水をこぼさないように注意すること。  
試合進行の妨げになるよううちわ、メガホン、鳴り物の使用を禁止する。また、マスコットの持ち込みも禁止する。ベンチでのうちわ、メガホンの使用も禁止とする。